

令和5年度 学校評価報告

園 名	三 田 幼 稚 園
-----	-----------

1 教育目標

「げんきな子 考える子 やさしい子」
・活動を楽しみ、自己を発揮できる幼児を育てる
・自分なりの目当てをもって、粘り強くやりぬく幼児を育てる
・思いを伝え合い、相手を受け入れられる幼児を育てる
(八景中学校区共通目標)
人も自分も学校(園)もふるさと大切にする子
～自分を大切にでき、自分のことは自分でしようとする子～

2 重点目標

「やってみよう 考えよう つながろう」
～人との関わりの中で育まれる思考力を探る～

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	幼稚園の取組状況・改善の方策
教育課程	○幼児が身近な環境に主体的に関わり、友達と一緒に考え学び合える保育内の充実 ・心の安定を図り、園生活を楽しみながら幼児一人一人が自己を発揮できる居場所づくりや保育内容、援助の工夫 ・好奇心や探究心を働かせ、夢中になって遊び込む中で思考をめぐらせ、試行錯誤できる環境や体験の工夫 ・共に育ち合える3歳児4歳児5歳児の関わり工夫 ○健やかな心と体をつくる取り組みの工夫 ・「わくわく体操」を基盤とした体づくりの推進 ・芝生園庭を活かした動きの場づくりの工夫	子ども達が園生活を楽しみ主体的に活動する中で、「こんなふう(に)したい」「なぜだろう」といろいろな思いを巡らせ、試行錯誤を繰り返すことで様々な学びに向かう力が育まれていると感じられた。また、遊びを通して学年が関わり合える環境を工夫し、共に育ち合える保育実践に努めたことで、互惠性のある育ちの実感が得られた。 体づくりの推進については、戸外遊びやわくわく体操等、年間を通した取り組みを工夫すると共に、保護者にその具体や子どもの育ち、意義等を発信していくようにする。
保護者・地域住民との連携	○園やふるさとを大切にする豊かな心の育成 ・園の取り組みや子どもの育ちの情報発信の工夫 ・家庭、地域との信頼関係の構築 ・地域と連携した体験活動の工夫、様々な交流、連携の推進	園の取り組みや子どもの育ち等、通信や写真等を玄関口や、クラスに掲示したり、降園時には、タイムリーな情報を伝えたりして、工夫した発信を心掛けてきた。 地域住民との連携については、計画していた施設との交流は出来なかったが、子ども達が地域の方の温かさを感じ、感謝の気持ちをもって関わる姿が見られた。
保幼小中連携	○保幼小中連携の推進と幼小の円滑な接続をめざしての取り組みの推進 ・小学校区の保幼小間での様々な交流機会を工夫し、就学への期待を高める ・保幼小の教職員間の接続を意識した連携の推進	保幼小連携では、“友達ウィーク”として園庭を開放し、子ども同士が自然な姿で関わり、遊びを楽しむことができた。幼小連携では、2回交流を持つことができ、小学校生活への憧れや期待感に繋がった。今後も教師間で意見交流の機会を大切にし、子どもの学びや育ちの連続性を意識した連携に努めていきたい。
子育て支援	○親同士、子ども同士の交流の場としての役割や機能の充実 ・安心して集える場づくりや仲間づくりと情報発信の工夫 ・2,3歳児と園児との交流内容の工夫や、未就園児とその保護者への支援の工夫	計画していたことを全て実施することができた。今後も未就園児親子に繋がり場づくりの工夫をするとともに、子育て相談等の支援も充実させていきたい。

4 学校関係者評価

遊びや生活の中で、子どもが主体的に活動し、どの子もいきいきと園生活を楽しんでいる。その中で、試したり工夫したりしながら、友達と関わり、育ち合っていることがわかる。
3 学年の縦、横の繋がりを工夫されていることが、幸せの連鎖に繋がっている。今後も子どもの主体性を大切にした教育内容を期待する。

地域の方が幼稚園に来れるような、きっかけづくりをすることで、地域の方も幼稚園に来やすくなり、交流もスムーズになるのではと感じた。

保幼小の連携が再開できてきたことが嬉しく思う。
子ども達の交流の充実と、教師間の繋がりがや連携に期待したい。

雨天時に園庭開放が中止になるのが残念である。今後、雨天時の在り方を検討してほしい。

(別紙様式 2)

5 総合的な評価結果

子どもの主体性を大切にされた保育活動の工夫を行い、教師間で日々の保育を振り返り語り合うことで幼児理解を深め、保育実践に努めることができた。

子ども達は、友達同士で考えや思いを伝え合い、共通の目的に向かって試行錯誤しながら粘り強く前向きに取り組む姿が見られ、自分達で生活や遊びを創り上げる楽しさを感じている。今後も、保護者や地域の方々の協力を得ながら、多様な体験の工夫、保護者への情報発信等に努め、保育の充実を図っていきたい。

6 総合的な学校関係者評価

保護者アンケートの結果から、幼稚園の教育方針や具体的な取り組みについて、高い評価が得られていることが素晴らしいと感じた。日頃から、先生方が子どもの興味・関心に気づき、子どもが主体的に活動できる環境を工夫され、一人一人の子どもに沿ったきめ細やかな関わりをされていることが、子どもの姿から伝わった。

今後はもっと、三田幼稚園の魅力を地域の方にアピールしてほしい。